はじめに

これまでの積み重ねが表現できるか否か。
内容も、表現次第で大きく変わるのが、
プレゼンテーション試験。

○ 大学が求める人材像であることをアピールしなければなりません。

　プレゼンテーションとは、大学側からの課題に対して、受験生がそれまでの探究の積み重ねとその成果を表現する形式の試験です。大学受験においては、入学者の受け入れ方針（「求める人材像」「アドミッション・ポリシー」などと呼ばれている）を満たす人物であるかどうかを確認するために行われます。さまざまな大学の受け入れ方針を見ると、おおまかに「志望する学部・学科での学びに関する強い興味・関心があること」「その大学を第一志望とする人物であること」という内容に大別できます。したがって、こうしたことを満たしている人物であることをアピールする準備が欠かせません。

○ 受験生の本当の姿が表現しにくいのが、プレゼンテーション試験です。

　試験官は、探究の内容をプレゼンテーションを介して理解しようとします。つまり、内容のみならず、伝え方にも細心の注意を払う必要があります。加えて、試験官は受験生にプレゼンの内容を踏まえた質疑応答をしますから、その受け答え方や態度をもとに、多くの情報を引き出し、探究の様子をあらわにしようとします。しかも、プレゼンテーション試験の対策が難しいのは、評価の過程で面接官の主観が多分に含まれてしまう点です。たとえば、会場での立ち振る舞いや態度の良し悪しが評価を左右することもあります。

○結果が瞬時に決まることを踏まえて、対策をする必要があります。

　試験の難易度を決定し、「場」を支配する権限を持つのは、実は受験生です。内容や作品の完成度もさることながら、プレゼンテーションで表現する雰囲気をつくるのも受験生です。他方、質疑応答のパートになると、主導権が試験官に渡ります。面接とは異なり、プレゼンテーションの内容についての指摘に集中するので、基本的には厳しい質問を投げかけたり、受験生に反論をしたりします。出願書類や筆記試験のようにじっくりと受験生の解答が検討されるわけでもなく、試験官はその場で評価を下しますので、あなたが有利になるように、できる限りの対策を講じる必要があります。プレゼンテーション試験をクリアするためには、厳しい状況を想定したうえで訓練をすべきです。
　総合型選抜・学校推薦型選抜の難関はプレゼンテーション試験です。これまでのあなたの探究の成果を示すだけでなく、あなたが描く未来まで表現し、文字通り未来を生きる人々へpresentしましょう！

神崎 史彦

Contents

講	テキストページ数	動画 チャプター1	チャプター2	チャプター3	チャプター4
はじめに	1P				
Contents	2P				
本講座の学習の流れ	3P				
総合型選抜対策講座シリーズ受講の流れ	4P				
第1講 プレゼンテーションの必須事項① 全体構成	5P–10P	プレゼンテーションとは	構成の方法	時間配分	シナリオ
第2講 プレゼンテーションの必須事項② 資料の表現方法	11P–14P	資料の表現方法の基本	フォント	色	図形
第3講 プレゼンテーションの必須事項③ ポスター・スライド	15P–22P	タイトル	ストーリー	ポスターの例	スライドの例
第4講 プレゼンテーションの必須事項④ 話し方・伝え方	23P–28P	表情・視線	話し方のコントロール	伝え方のコントロール	ボディーランゲージ
第5講 予想質問	29P–36P	質問の答え方	質問例① 具体化・抽象化	質問例② 探究の深さ・広さ	質問例③ 内容の反論
第6講 プレゼンテーションのイメージトレーニング	37P–44P	模擬プレゼンテーション①	解説	模擬プレゼンテーション②	解説
おわりに	45P–46P				
巻末資料 プレゼンテーションルーブリック	47P–50P				

本講座の学習の流れ

予習	POINT ! ・基本的には予習は不要です。
受講中	POINT ! ・動画を観ながら必要な板書は左ページに書き込みましょう。 ・大事なポイントや自分なりに考えたことは 右ページの生徒メモ欄にメモしておきましょう。 ・適宜動画を止めたり、動画のスピードを変えても構いません。
受講後	POINT ! ・第5講では左ページに回答欄を準備していますので、 プレゼンテーションに対する質疑応答の内容を想定し、 回答を考えてみるのも良いでしょう。 その際、大学の先生の立場に立って、 徹底的に質問と回答を想定してください。 （徹底的なクリティークが合否を左右します。）
学校の先生との面談で	POINT ! ・各講で学んだこと、考えたことや、 プレゼンテーションのシナリオを学校の先生との面談に持ち込んで、 ご指導をいただいても良いでしょう。

総合型選抜対策講座シリーズ　受講の流れ

試験形式に関わらず、受講推奨	総合型選抜対策講座 ＜スタートアップ編＞	総合型選抜とは何か、どんな事が求められるのかといった前提知識を学びたい時や、志望校や志望理由を決める時に迷っている場合におすすめです。
	総合型選抜対策講座 ＜出願書類作成編＞	志望理由書、または自己アピール文を書く際に必要な要素や考え方を学びたい時におすすめです。また、巻末資料に自己採点の参考になる評価基準も付いているので、書き上げた書類を見直す際にも参考にしてください。
各自の試験形式に合わせて、必要な講座を選択した上での受講を推奨	総合型選抜対策講座 ＜事前課題型小論文編＞	事前課題型小論文とは、事前課題として小論文やレポートを課し、出願書類とともに提出したり、2次選考の材料として用いられたりする形式です。作成の際に注意したいポイントを学びたい時におすすめです。
	総合型選抜対策講座 ＜面接編＞	面接を受ける際の準備や心構え、頻出質問例などを学びたい時や、模試面接の様子から実際のイメージなどを持ちたい場合におすすめです。
	総合型選抜対策講座 ＜プレゼンテーション編＞	プレゼンテーションを行う際の準備や心構え、表現方法例などを学びたい時や、模試プレゼンの様子から実際のイメージなどを持ちたい場合におすすめです。

第1講

プレゼンテーションの必須事項① 全体構成

チャプター1

プレゼンテーションとは

書き込んでみよう

○プレゼンテーションとは

○評価者にアクションを起こしてもらうには

1

2

3

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター2 構成の方法
チャプター3 時間配分

書き込んでみよう

○ プレゼンテーションの構成例

現状

Step.1 問題提起・課題発見

分

どんな問題・課題があるのか？

・主張
・事実／理由
・事例

どうする？どうなる？

Step.2 対象・方法提示

（情報の収集）

分

その課題をどうやって解き明かす？

・主張
・事実／理由
・事例

なぜ？

Step.3 結果・分析・考察

（整理・分析）

分

その課題が生まれる原因・メカニズム・背景は何か？

・主張
・事実／理由
・事例

どうする？　どうなる？

提案

Step.4 結論

（まとめ・表現）

分

その原因をどう解決する？どういう効果が予測できる？

・主張
・事実／理由
・事例

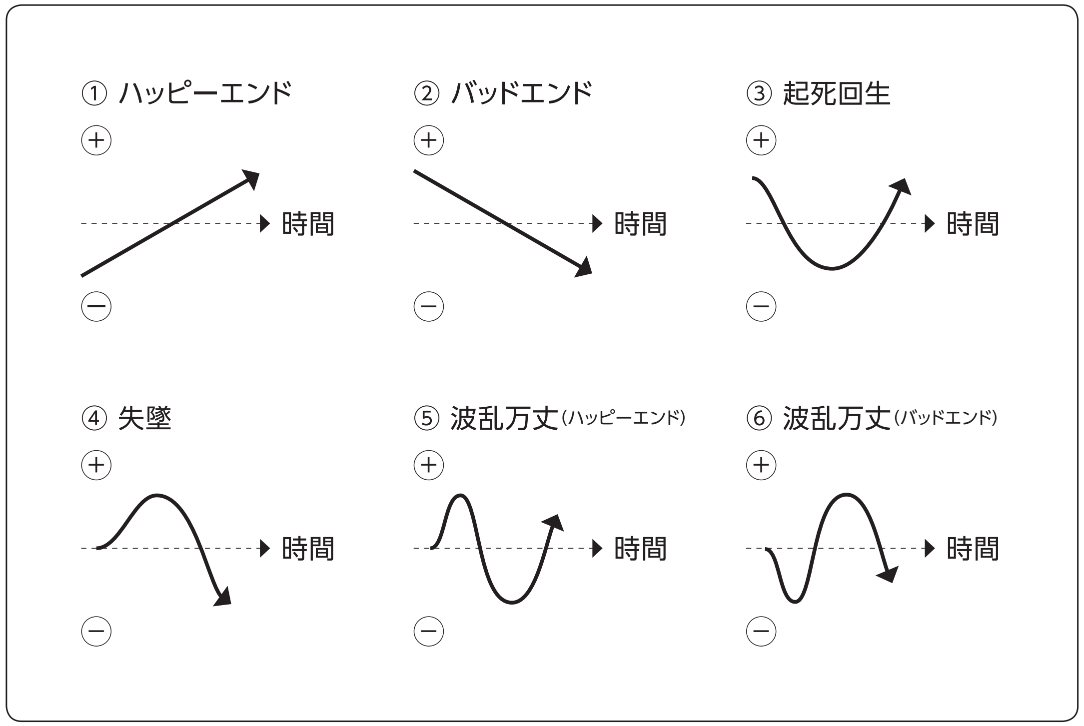
生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター4

シナリオ

○ストーリーの6つのパターン



書き込んでみよう

○ パーツ内のシナリオの構成

1

2

3

4

生徒メモ欄

教員記入欄